

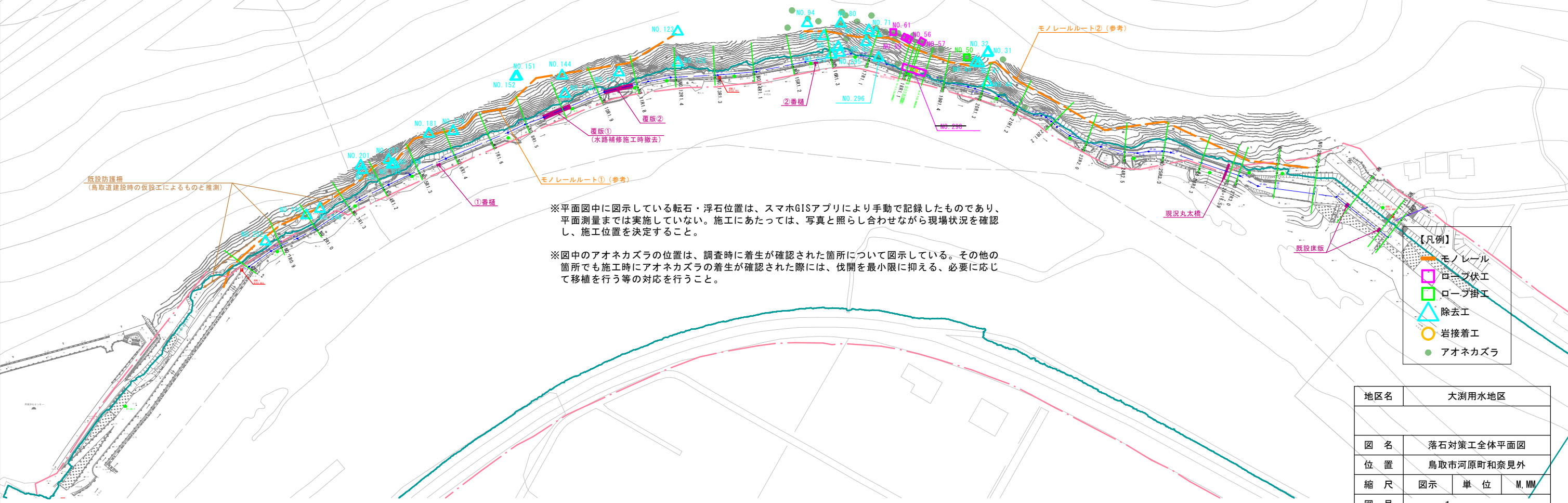
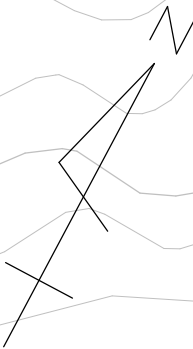
工事名:大湊用水地区落石対策工事

当初

図 面 目 録			
番号		部数	備 考
1	落石対策全体平面図	1	
2	落石対策計画平面図(1)	1	
3	落石対策計画平面図(2)	1	
4	転石除去工・土工用仮設防護柵標準図	1	参考図
5	ロープ掛工構造図	1	
6	ロープ掛工展開図	1	
7	ロープ伏工構造図	1	
8	ロープ伏工展開図(1)	1	
9	ロープ伏工展開図(2)	1	
10	露岩オーバーハング部横断図		
11	岩接着工計画図		
12	落石対策仮設平面図(1)	1	参考図
13	落石対策仮設平面図(2)	1	参考図
14	上流側搬入路拡幅計画図	1	参考図
計		12	

落石対策工全体平面図

S=1:1000



※平面図中に図示している転石・浮石位置は、スマホGISアプリにより手動で記録したものであり、平面測量までは実施していない。施工にあたっては、写真と照らし合わせながら現場状況を確認し、施工位置を決定すること。

※図中のアオネカズラの位置は、調査時に着生が確認された箇所について図示している。その他の箇所でも施工時にアオネカズラの着生が確認された際には、伐開を最小限に抑える、必要に応じて移植を行う等の対応を行うこと。

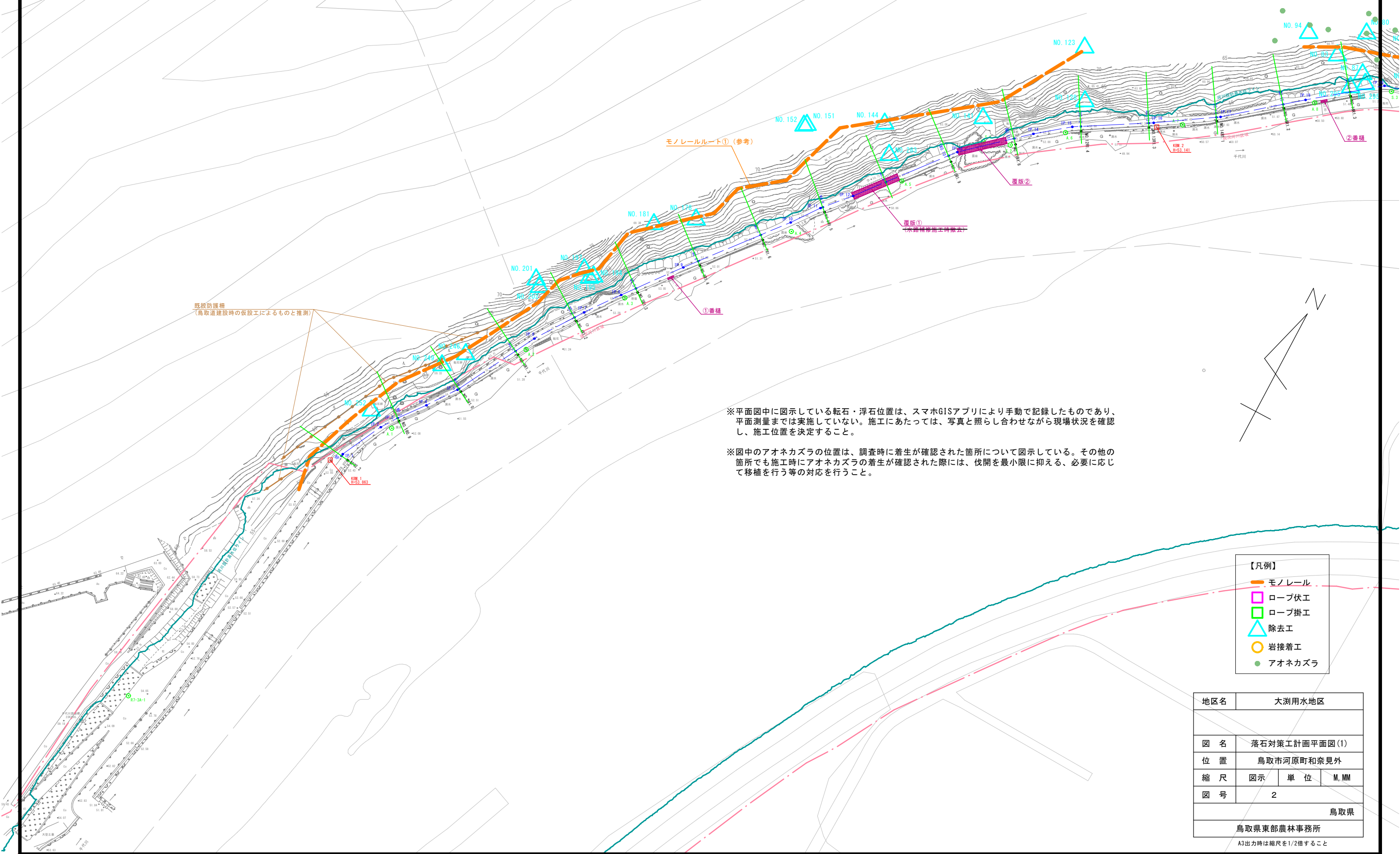
【凡例】

- モノレール
- ロープ伏工
- ロープ掛工
- 除去工
- 岩接着工
- アオネカズラ

地区名	大淵用水地区		
図 名	落石対策工全体平面図		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	1		
鳥取県			
鳥取県東部農林事務所			

落石対策工計画平面図(1)

S=1:500



※平面図中に図示している転石・浮石位置は、スマホGISアプリにより手動で記録したものであり、平面測量までは実施していない。施工にあたっては、写真と照らし合わせながら現場状況を確認し、施工位置を決定すること。

※図中のアオネカズラの位置は、調査時に着生が確認された箇所について図示している。その他の箇所でも施工時にアオネカズラの着生が確認された際には、伐開を最小限に抑える、必要に応じて移植を行う等の対応を行うこと。

【凡例】

モノレール

ロープ伏工

ロープ掛工

除去工

岩接着工

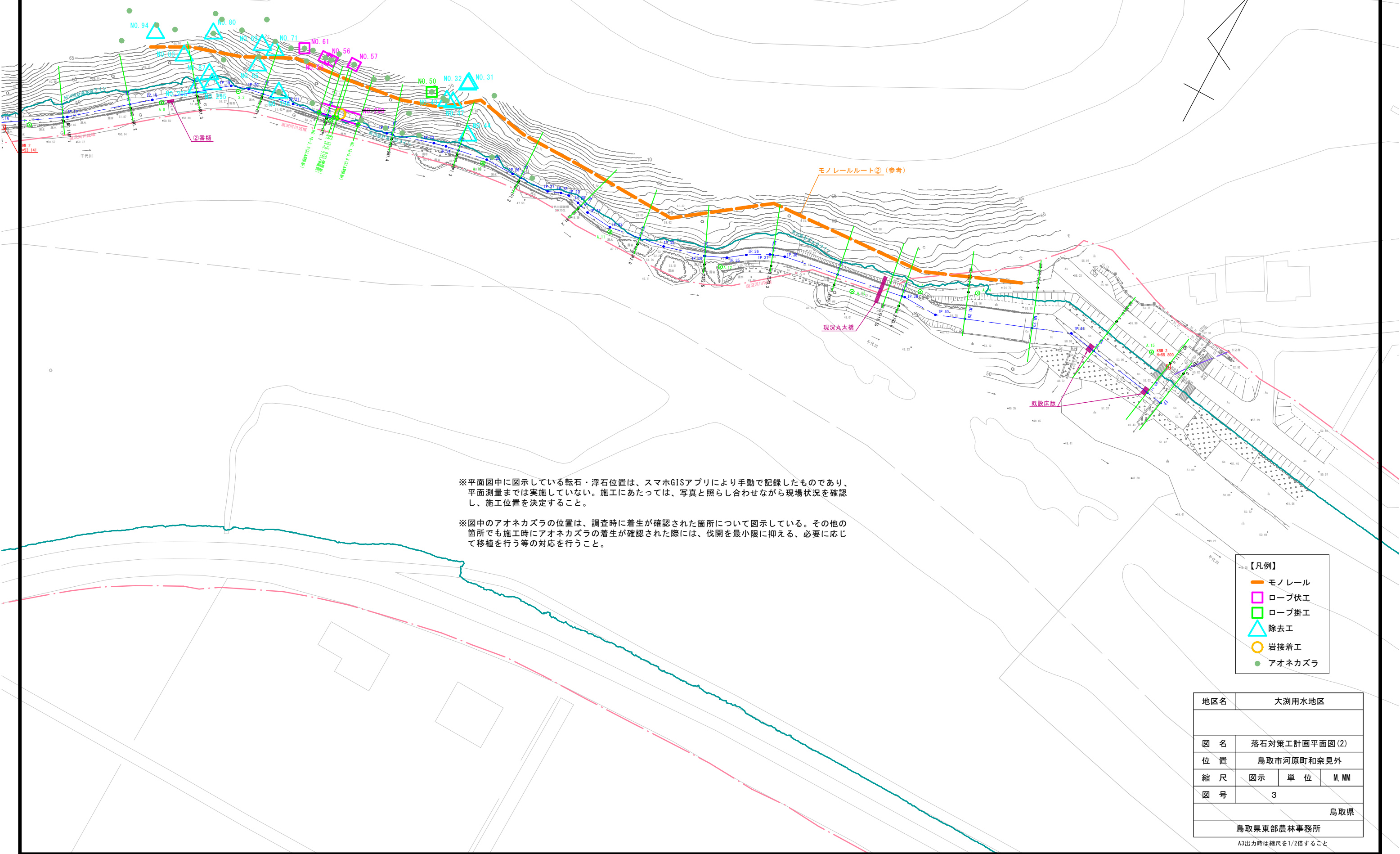
アオネカズラ

地区名	大湊用水地区		
図 名	落石対策工計画平面図(1)		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	2		
鳥取県			
鳥取県東部農林事務所			

A3出力時は縮尺を1/2倍すること

落石対策工計画平面図(2)

S=1:500



※平面図中に図示している転石・浮石位置は、スマホGISアプリにより手動で記録したものであり、平面測量までは実施していない。施工にあたっては、写真と照らし合わせながら現場状況を確認し、施工位置を決定すること。

※図中のアオネカズラの位置は、調査時に着生が確認された箇所について図示している。その他の箇所でも施工時にアオネカズラの着生が確認された際には、伐開を最小限に抑える、必要に応じて移植を行う等の対応を行うこと。

- 【凡例】
- モノレール
 - ロープ伏工
 - ロープ掛工
 - 除去工
 - 岩接着工
 - アオネカズラ

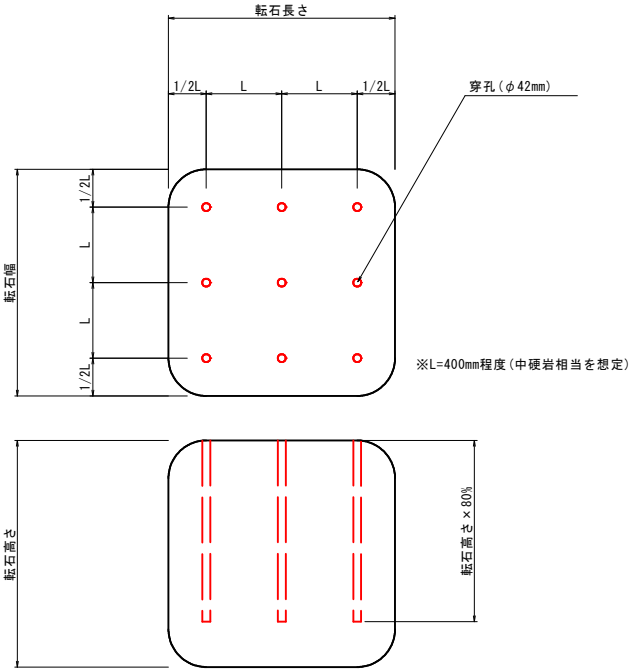
地区名	大淵用水地区		
図 名	落石対策工計画平面図(2)		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	3		
			鳥取県
鳥取県東部農林事務所			

転石除去工・土工用仮防護柵標準図

静的破碎工標準図

(参考モデル図)

S=1:20



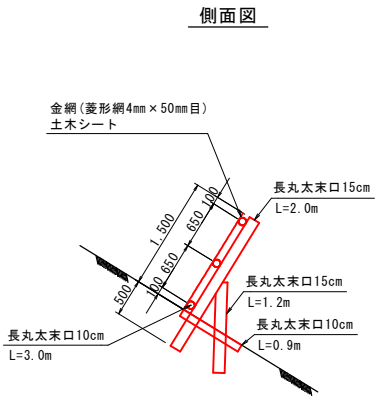
※静的破碎後、人力小割 (二次破碎) にて人力で運搬可能な規模 (20cm角程度) まで小割を行うこと。

※本計画地には県の準絶滅危惧種に指定されているアオネカズラ (ウラボシ科) が生息し、水路測点N0.16付近より下流の転石や露岩ではその着生が確認される。アオネカズラの着生が確認される場合は、伐開を最小限に抑え、転石破碎前に周辺の岩場等へ移植 (くくりつける) する等の配慮を行うこと。

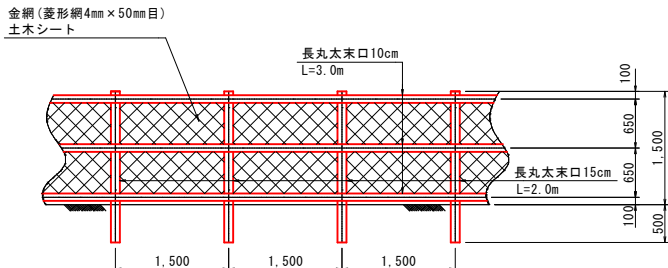
土工用仮防護柵 (GF1)

(参考図)

S=1:50



正面図



材料表		3m当たり	
名 称	規 格	単位	数 量
杭 材	松丸太末口15cm L=2.0m、杭用	本	2
杭 材	松丸太末口10cm L=3.0m、横桁用	本	3
杭 材	松丸太末口15cm L=1.2m、支保杭用	本	2
杭 材	松丸太末口10cm L=0.9m、支保杭用	本	2
金 網	菱形金網、4mm×50mm目	m2	4.8
シート	2.7m×3.6m×0.5mm	m2	5.0

転石除去工施工数量一覧表

危険度順位	転石NO.	区間	幅(m)	高さ(m)	奥行(m)	体積(m3)	個数(個)	除去体積(m3)	備考
1	83	ルート②	1.2	1.7	1.0	2.04	1	2.04	
3	69	ルート②	1.6	2.0	1.0	3.20	1	3.20	
4	201	ルート①	0.7	1.0	0.8	0.56	1	0.56	
5	49	ルート②	1.2	1.0	1.0	1.20	1	1.20	
6	194	ルート①	0.4	0.3	0.3	0.04	1	0.04	
6	202	ルート①	0.5	0.5	0.5	0.13	1	0.13	
8	151	ルート①	0.6	0.6	0.6	0.22	1	0.22	
10	31	ルート②	0.7	1.0	0.6	0.42	1	0.42	
10	141	ルート①	0.8	1.4	0.6	0.67	1	0.67	
10	181	ルート①	1.0	0.8	0.3	0.24	1	0.24	
14	195	ルート①	0.4	0.4	0.2	0.03	1	0.03	
14	197	ルート①	0.5	0.5	0.4	0.10	1	0.10	
18	71	ルート②	0.4	0.7	0.5	0.14	1	0.14	
18	123	ルート①	1.8	1.8	0.6	1.94	1	1.94	
20	94	ルート②	1.0	0.6	0.6	0.36	30	10.80	
20	283	ルート①	1.2	1.4	1.2	2.02	1	2.02	
24	32	ルート②	0.8	0.6	1.0	0.48	1	0.48	
24	47	ルート②	1.4	0.9	1.0	1.26	1	1.26	
29	44	ルート②	0.7	0.4	0.7	0.20	1	0.20	
29	65	ルート②	0.2	0.2	0.1	0.004	1	0.004	
29	152	ルート①	0.6	0.6	0.4	0.14	1	0.14	
29	295	ルート②	0.6	0.4	0.4	0.10	1	0.10	水路際
29	295	ルート②	0.8	1.0	0.4	0.32	1	0.32	水路際
36	178	ルート①	0.9	1.2	0.6	0.65	1	0.65	
36	246	ルート①	1.4	1.2	1.5	2.52	1	2.52	
36	249	ルート①	1.8	1.6	2.0	5.76	1	5.76	
(105)	248	ルート①	0.8	1.2	0.5	0.48	3	1.44	※249と併せて除去
36	252	ルート①	3.0	2.0	1.2	7.20	1	7.20	
41	80	ルート②	0.8	0.8	0.6	0.38	1	0.38	
41	87	ルート②	1.0	0.4	0.8	0.32	1	0.32	
41	128	ルート①	1.0	1.5	0.7	1.05	7	7.35	水路際付近
41	144	ルート①	0.5	0.5	0.4	0.10	10	1.00	
74	296	ルート②	1.0	2.0	1.2	2.40	1	2.40	水路際
							合計	55.26	m3
							うち水路際の転石	10.17	m3

土工用仮防護柵施工数量一覧表

危険度順位	転石NO.	区間	幅(m)	個数(個)	設置延長(m)	備考
1	83	ルート②	1.2	1	3.60	
3	69	ルート②	1.6	1	4.80	
4	201	ルート①	0.7	1	2.10	
5	49	ルート②	1.2	1	3.60	
6	194	ルート①	0.4	1	1.20	
6	202	ルート①	0.5	1	1.50	
8	151	ルート①	0.6	1	1.80	
10	31	ルート②	0.7	1	2.10	
10	141	ルート①	0.8	1	2.40	
10	181	ルート①	1.0	1	3.00	
14	195	ルート①	0.4	1	1.20	
14	197	ルート①	0.5	1	1.50	
18	71	ルート②	0.4	1	1.20	
18	123	ルート①	1.8	1	5.40	
20	94	ルート②	1.0	30	6.00	転石複数あり、L=6m程度を想定
20	283	ルート①	1.2	1	3.60	
24	32	ルート②	0.8	1	2.40	
24	47	ルート②	1.4	1	4.20	
29	44	ルート②	0.7	1	2.10	
29	65	ルート②	0.2	1	0.60	
29	152	ルート①	0.6	1	1.80	
29	295	ルート②	0.6	1	-	水路際のため非計上
29	295	ルート②	0.8	1	-	水路際のため非計上
36	178	ルート①	0.9	1	2.70	
36	246	ルート①	1.4	1	4.20	
36	249	ルート①	1.8	1	5.40	
(105)	248	ルート①	0.8	3	-	※249と併せて除去
36	252	ルート①	3.0	1	9.00	
41	80	ルート②	0.8	1	2.40	
41	87	ルート②	1.0	1	3.00	
41	128	ルート①	1.0	7	8.00	転石複数あり、L=8m程度を想定
41	144	ルート①	0.5	10	5.00	転石複数あり、L=5m程度を想定
74	296	ルート②	1.0	1	-	水路際のため非計上
				合計	95.80	m

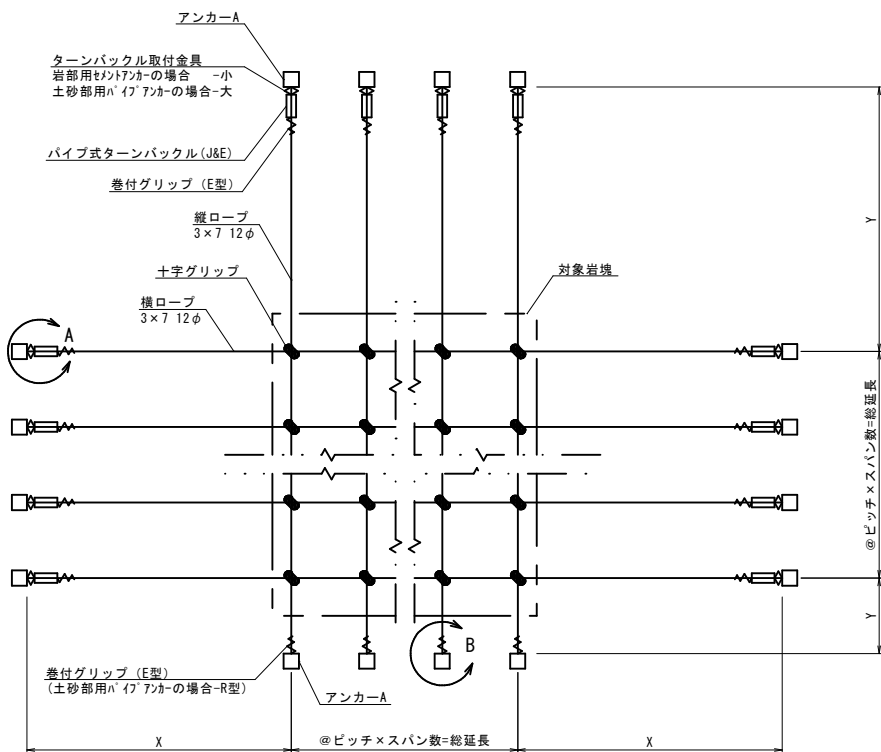
地区名	大湊用水地区		
図 名	転石除去工・土工用仮防護柵標準図		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	4		
鳥取県			
鳥取県東部農林事務所			

A3出力時は縮尺を1/2倍すること

ロープ掛工構造図

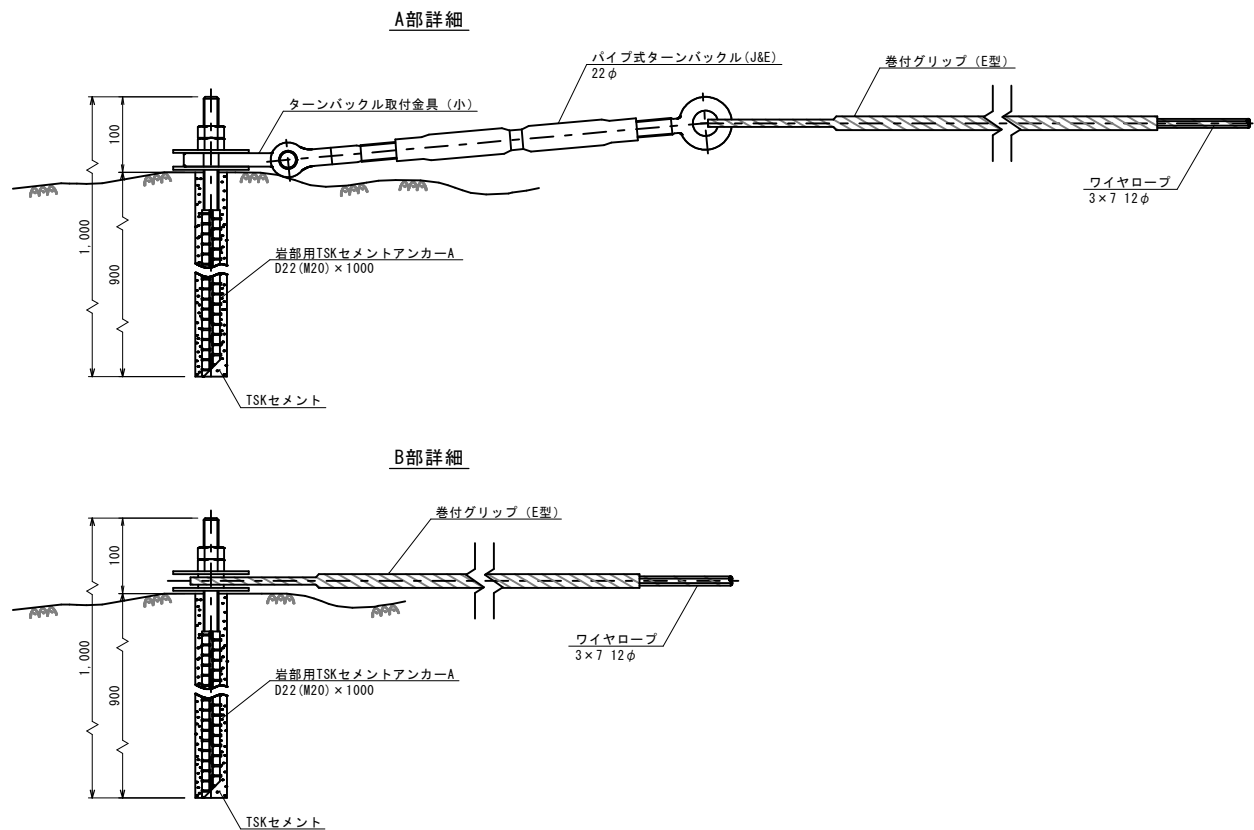
展開図

S=1:100



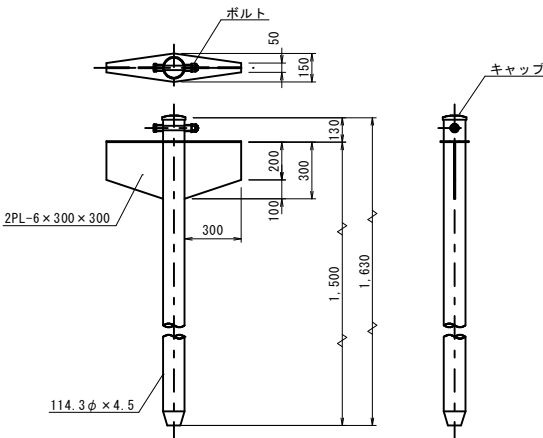
構造図

S=1:5



土砂部用
B型ロケットアンカー
S=1:20

114.3φ×4.5-1630

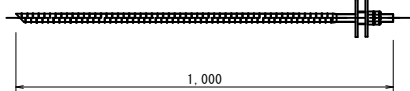


材料明細表

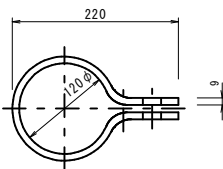
名 称	仕 様・寸 法 (mm)	単 位	記号
主ロープ	縦 3×7 12φ 横 3×7 12φ	ZA-180 ZA-180	m m
巻付グリップ (E型)	12φ用-800	ZA-300	本
巻付グリップ (R型)	12φ用-975	ZA-300	本
岩部用TSKセメントアンカーA	D22 (M20) × 1000	Znめっき	本
土砂部用B型ロケットアンカー	114.3φ×4.5t-1630 2PL-6×300×300	Znめっき	本
十字グリップ	12φ用 50×95	Znめっき	個
パイプ式ターンバックル (J&E)	22φ×325	Znめっき	本
ターンバックル取付金具 (小)	岩部用	Znめっき	個
ターンバックル取付金具 (大)	土砂部用	Znめっき	個

岩部用
TSKセメントアンカーA
S=1:10

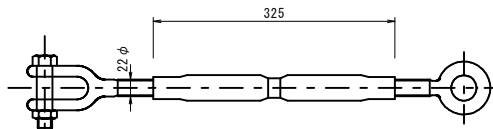
D22 (M20) × 1000



ターンバックル取付金具
(大) 土砂部用
S=1:5



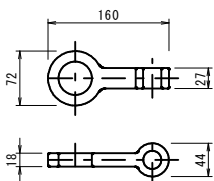
パイプ式ターンバックル (J&E) 22φ
S=1:5



巻付グリップ



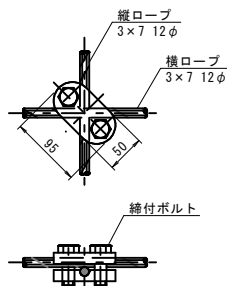
ターンバックル取付金具
(小) 岩部用
S=1:5



寸 法 表		
	名 称	L
巻付グリップ (E型)	12φ用- 800	800
巻付グリップ (R型)	12φ用- 975	975

十字グリップ
S=1:5

12φ用 50×95



ロープ掛工施工数量一覧表

転石NO.	ロープ延長 (m)	落石重量 (kN)	備考
50	縦 : 25.0 横 : 21.0	44.92 (1.2m×1.0m×1.6m)	

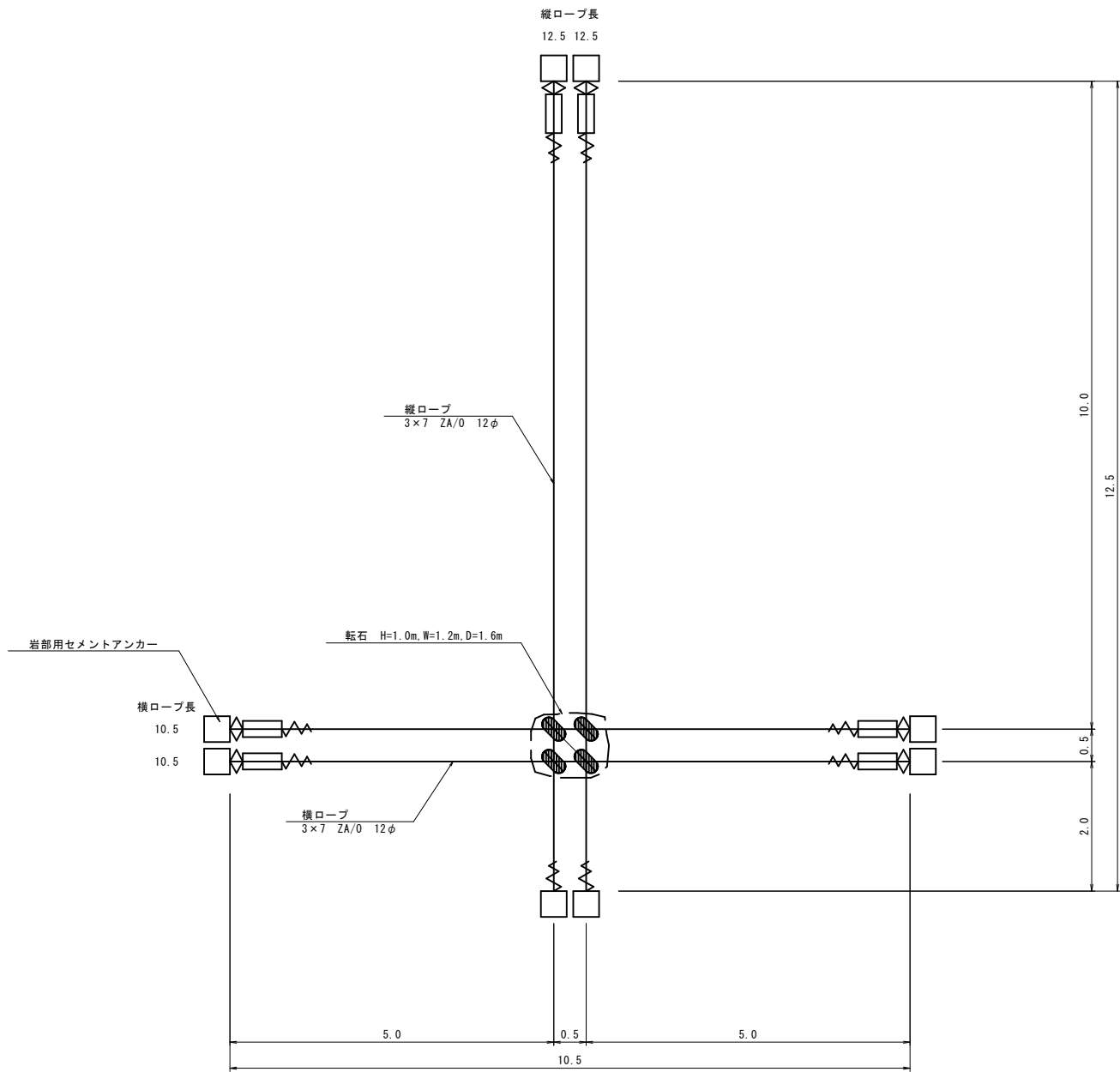
地区名	大淵用水地区
図 名	ロープ掛工構造図
位 置	鳥取市河原町和奈見外
縮 尺	図示 単 位 M, MM
図 号	5
鳥取県	
鳥取県東部農林事務所	

A3出力時は縮尺を1/2倍すること

ロープ掛工展開図

展開図 (NO. 50)

S=1:50



材 料 明 細 表

名 称		仕 様・寸 法 (mm)		数 量	単 位	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	25.0	m	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	21.0	m	—
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	8	本	—
巻付グリップ (R型)		12φ用-975	ZA-300	0	本	—
岩部用TSKセメントアンカーA		D22 (M20) × 1000	Znめっき	6	本	□
土砂部用B型ロケットアンカー		114.3φ × 4.5~1630 2PL-6 × 300 × 300	Znめっき	2	本	○
十字グリップ		12φ用 50 × 95	Znめっき	4	個	✦
パイプ式ターンバックル (J&E)		22φ × 325	Znめっき	6	本	—
ターンバックル取付金具 (小)		岩部用	Znめっき	4	個	◇
ターンバックル取付金具 (大)		土砂部用	Znめっき	2	個	◇

- ※ アンカー数量は、岩部用：土砂部用＝7：3で算出。
（但し、図中表記はすべて岩部用）
※ ロープ長さ、配置は現地条件により調整すること。
※ アンカーの種類（岩部用、土砂部用）は設置位置の地盤状況により決定すること。

※本計画地には県の準絶滅危惧種に指定されているアオネカズラ（ウラボシ科）が生息し、水路測点NO.16付近より下流の転石や露岩ではその着生が確認される。アオネカズラの着生が確認される場合は、伐開を最小限に抑え、アンカーが着生位置に干渉する際は、施工前に周辺の岩場等へ移植（くくりつける）する等の配慮を行うこと。

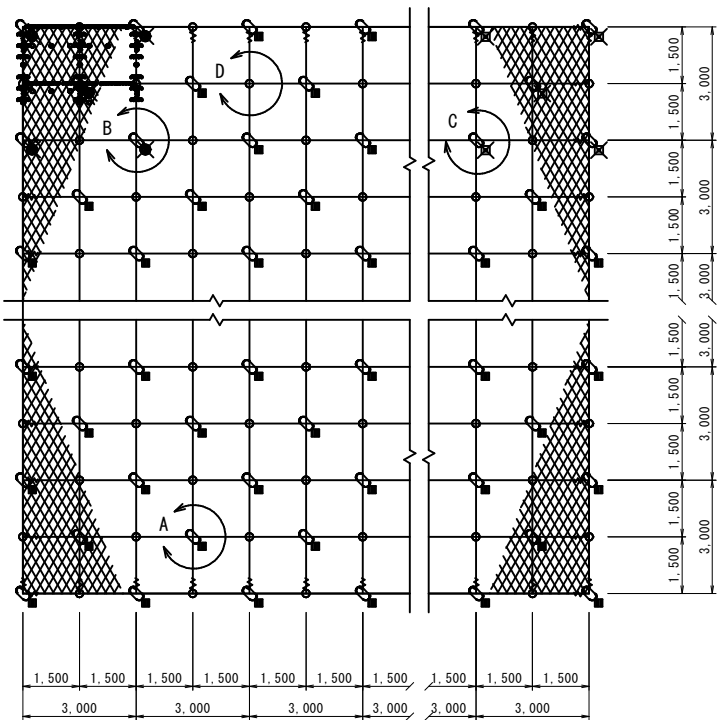
地区名	大湊用水地区		
図 名	ロープ掛工展開図		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	6		
鳥取県			
鳥取県東部農林事務所			

A3出力時は縮尺を1/2倍すること

ロープ伏工構造図

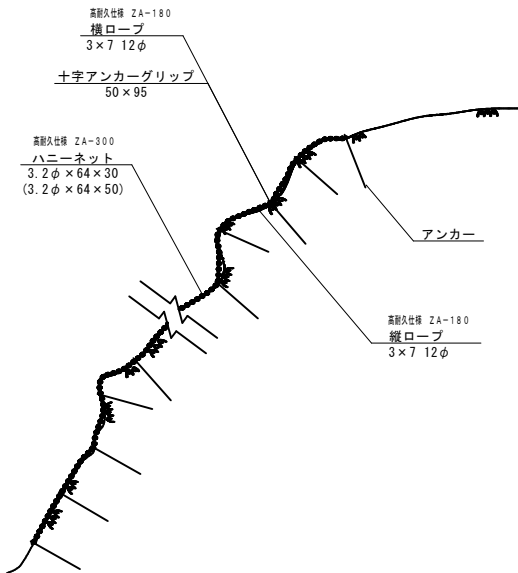
標準構造展開図

S=1:100



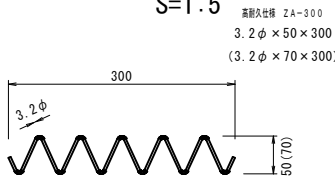
横断面図

S=1:100



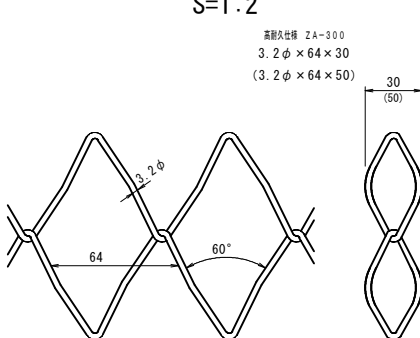
結合コイル

S=1:5



ハニーネット

S=1:2



部品明細表

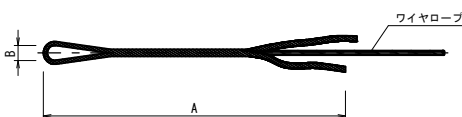
名 称		仕 様・寸 法 (mm)	記号
ハニーネット		3.2φ x 64 x 30 (ZA-300)	
		3.2φ x 64 x 50 (ZA-300)	
主ロープ	縦	3 x 7 12φ (ZA-180)	
	横	3 x 7 12φ (ZA-180)	
巻付グリップ (E型)		12φ用-800 (ZA-300)	
十手形ピンアンカー		9φ x 200	
		13φ x 300	
		13φ x 500	
ネジリアンカー		6t x 16 x 500	
岩部用TSKセメントアンカー		D22 (M20) x 1000	
土被り部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ x 4.5-1100 D22 (M20) x 750	
土砂部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ x 4.5-1400 D22 (M20) x 750	
十字アンカーグリップ		12φ用 50 x 95	
Vクリップ		3.2t x 92 (小)	
結合コイル		3.2φ x 50 x 300 (ZA-300)	
		3.2φ x 70 x 300 (ZA-300)	

※ 表記なき部材は全て垂鉛めっき仕様とする。

巻付グリップ

S=1:10

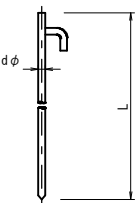
高耐久仕様 ZA-300



	名 称	A	B
巻付グリップ (E型)	12φ用-800	800	40

サブアンカー
十手形ピンアンカー

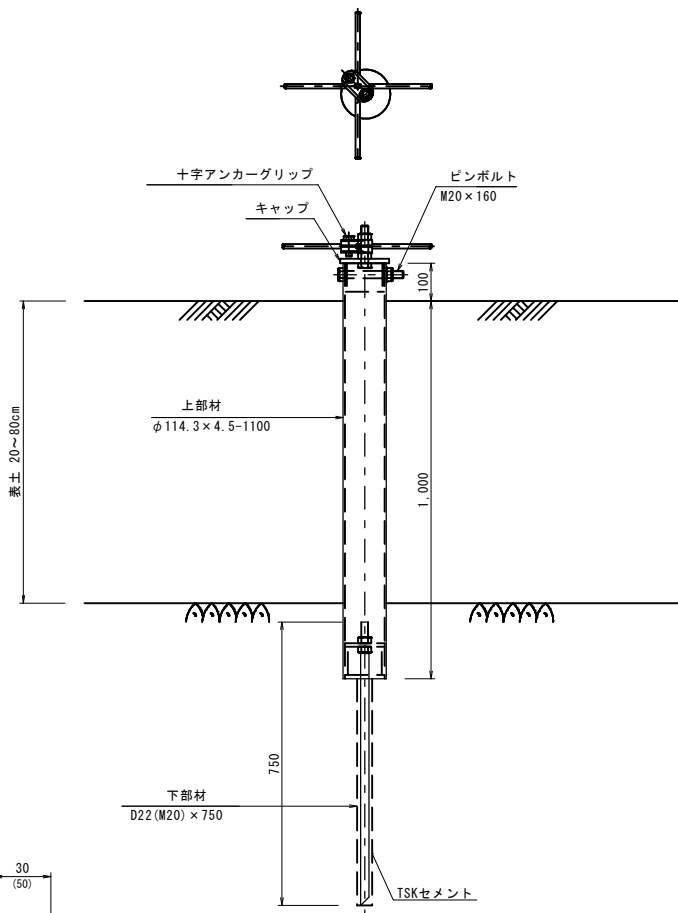
S=1:5



dφ (mm)	L (mm)	サブアンカー使用数量
9	200	縦ロープ 3m当り2本
13	300	横ロープ 3m当り2本
13	500	ハニーネット m ² 当り2本

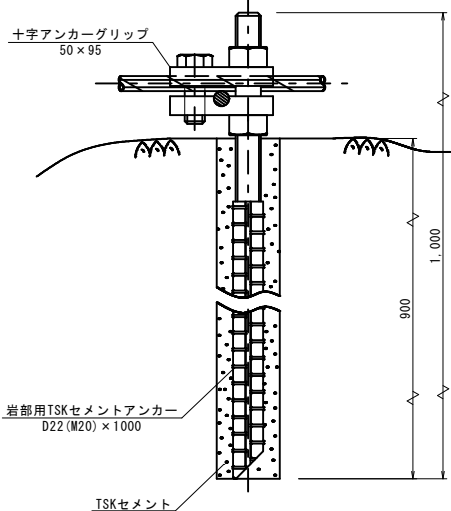
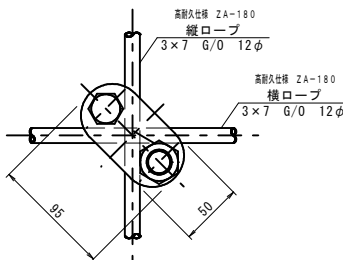
土被り部用TSKブレイクアンカー-25 (B部)

S=1:10



岩部用TSKセメントアンカー
十字アンカーグリップ (A部)

S=1:3



ロープ伏工施工数量一覧表

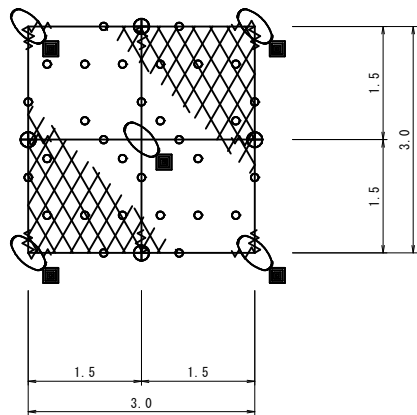
転石NO.	敷設面積 (m2)	落石重量 (kN)	備考
56	9.0	83.20 (2.0m x 2.0m x 0.8m)	
57	9.0	49.92 (1.6m x 1.2m x 1.0m)	
59	9.0	11.65 (0.8m x 0.7m x 0.8m)	
61	9.0	16.64 (0.8m x 1.0m x 0.8m)	
298	72.0	62.40 (3.0m x 1.0m x 0.8m)	※部分的な浮石に対する重量

地区名	大淵用水地区		
図 名	ロープ伏工構造図		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	7		
鳥取県			
鳥取県東部農林事務所			

A3出力時は縮尺を1/2倍すること

ロープ伏工展開図(1)

展開図 (NO. 56)
S=1:50



材 料 明 細 表

名 称		仕 様・寸 法 (mm)		数 量	単 位	割 増	記号
ハニーネット		3.2φ×64×30	ZA-300	11.7	m ²	9.0×1.3	XXXXXX
主ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	9.5	m	9.0×1.05	
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	9.5	m	9.0×1.05	—
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	12	本		≡
十手形ピンアンカー		13φ×300	Znめっき	39	本		●
		13φ×500	Znめっき	0	本		●
岩部用TSKセメントアンカー		D22 (M20) ×1000	Znめっき	5	本		■
土被り部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1100 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		■
土砂部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1400 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		●
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	5	個		⊕
Vクリップ		(小) 3.2t×92	Znめっき	4	個		⚡
結合コイル		3.2φ×50×300	ZA-300	28	個	27×1.05	≡

サブアンカー使用数量		
主ロープ	縦 3m 当り2本	6
	横 3m 当り2本	6
ハニーネット	1m ² 当り2本	18
計		30
割 増	×1.3	39

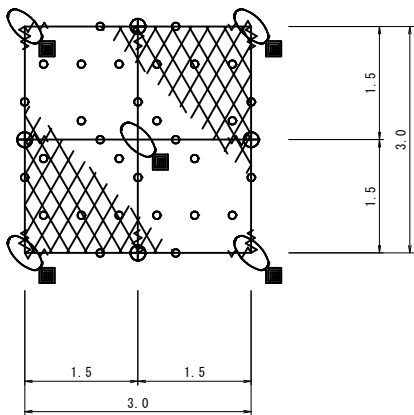
結合コイル使用数量			
主ロープ	縦 1m 当り1個		9
	横 1m 当り2個		18
ハニーネットジョイント (J)	1m 当り2個		0
計			27

※ 岩部用・土被り部用・土砂部用アンカーは、せん断方向及び引抜方向に抵抗するアンカーとする。

※ アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。

※ 施工範囲は、現場条件により調整を行うこと。

展開図 (NO. 57)
S=1:50



材 料 明 細 表

名 称		仕 様・寸 法 (mm)		数 量	単 位	割 増	記号
ハニーネット		3.2φ×64×30	ZA-300	11.7	m ²	9.0×1.3	XXXXXX
主ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	9.5	m	9.0×1.05	
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	9.5	m	9.0×1.05	—
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	12	本		≡
十手形ピンアンカー		13φ×300	Znめっき	39	本		●
		13φ×500	Znめっき	0	本		●
岩部用TSKセメントアンカー		D22 (M20) ×1000	Znめっき	5	本		■
土被り部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1100 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		■
土砂部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1400 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		●
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	5	個		⊕
Vクリップ		(小) 3.2t×92	Znめっき	4	個		⚡
結合コイル		3.2φ×50×300	ZA-300	28	個	27×1.05	≡

サブアンカー使用数量		
主ロープ	縦 3m 当り2本	6
	横 3m 当り2本	6
ハニーネット	1m ² 当り2本	18
計		30
割 増	×1.3	39

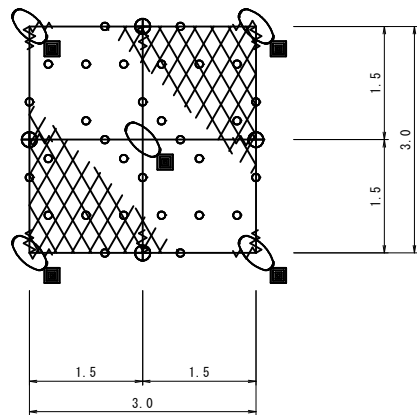
結合コイル使用数量			
主ロープ	縦 1m 当り1個		9
	横 1m 当り2個		18
ハニーネットジョイント (J)	1m 当り2個		0
計			27

※ 岩部用・土被り部用・土砂部用アンカーは、せん断方向及び引抜方向に抵抗するアンカーとする。

※ アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。

※ 施工範囲は、現場条件により調整を行うこと。

展開図 (NO. 59)
S=1:50



材 料 明 細 表

名 称		仕 様・寸 法 (mm)		数 量	単 位	割 増	記号
ハニーネット		3.2φ×64×30	ZA-300	11.7	m ²	9.0×1.3	XXXXXX
主ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	9.5	m	9.0×1.05	
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	9.5	m	9.0×1.05	—
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	12	本		≡
十手形ピンアンカー		13φ×300	Znめっき	39	本		●
		13φ×500	Znめっき	0	本		●
岩部用TSKセメントアンカー		D22 (M20) ×1000	Znめっき	5	本		■
土被り部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1100 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		■
土砂部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1400 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		●
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	5	個		⊕
Vクリップ		(小) 3.2t×92	Znめっき	4	個		⚡
結合コイル		3.2φ×50×300	ZA-300	28	個	27×1.05	≡

サブアンカー使用数量		
主ロープ	縦 3m 当り2本	6
	横 3m 当り2本	6
ハニーネット	1m ² 当り2本	18
計		30
割 増	×1.3	39

結合コイル使用数量			
主ロープ	縦 1m 当り1個		9
	横 1m 当り2個		18
ハニーネットジョイント (J)	1m 当り2個		0
計			27

※ 岩部用・土被り部用・土砂部用アンカーは、せん断方向及び引抜方向に抵抗するアンカーとする。

※ アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。

※ 施工範囲は、現場条件により調整を行うこと。

※本計画地には県の準絶滅危惧種に指定されているアオネカズラ(ウラボシ科)が生息し、水路測点NO.16付近より下流の乾石や露岩ではその着生が確認される。アオネカズラの着生が確認される場合は、伐倒を最小限に抑え、アンカーが着生位置に干渉する際は、施工前に周辺の岩場等へ移植(くくりつける)する等の配慮を行うこと。

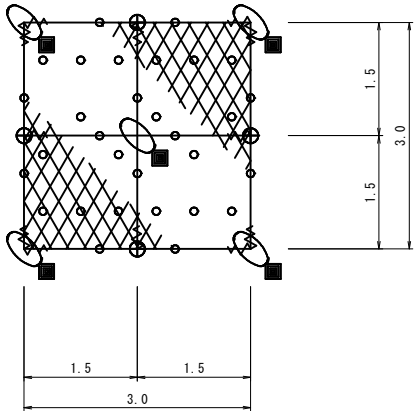
地区名	大淵用水地区		
図 名	ロープ伏工展開図(1)		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	8		
鳥取県			
鳥取県東部農林事務所			

A3出力時は縮尺を1/2倍すること

ロープ伏工展開図(2)

展開図 (NO. 61)

S=1:50



材料明細表

名 称		仕 様・寸 法 (mm)		数 量	単 位	割 増	記号
ハニーネット		3.2φ×64×30	ZA-300	11.7	m ²	9.0×1.3	XXXXXX
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	9.5	m	9.0×1.05	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	9.5	m	9.0×1.05	—
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	12	本		≡
十字形ピンアンカー	13φ×300	Znめっき		39	本		●
	13φ×500	Znめっき		0	本		●
岩部用TSKセメントアンカー		D22 (M20) ×1000	Znめっき	5	本		■
土被り部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1100 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		■
土砂部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1400 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		●
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	5	個		⊕
Vクリップ		(小) 3.2t×92	Znめっき	4	個		⚡
結合コイル		3.2φ×50×300	ZA-300	28	個	27×1.05	≡

サブアンカー使用数量			
主ロープ	縦	3m 当り2本	6
	横	3m 当り2本	6
ハニーネット		1m ² 当り2本	18
計			30
割 増		×1.3	39

結合コイル使用数量			
主ロープ	縦	1m 当り1個	9
	横	1m 当り2個	18
ハニーネットジョイント(J)		1m 当り2個	0
計			27

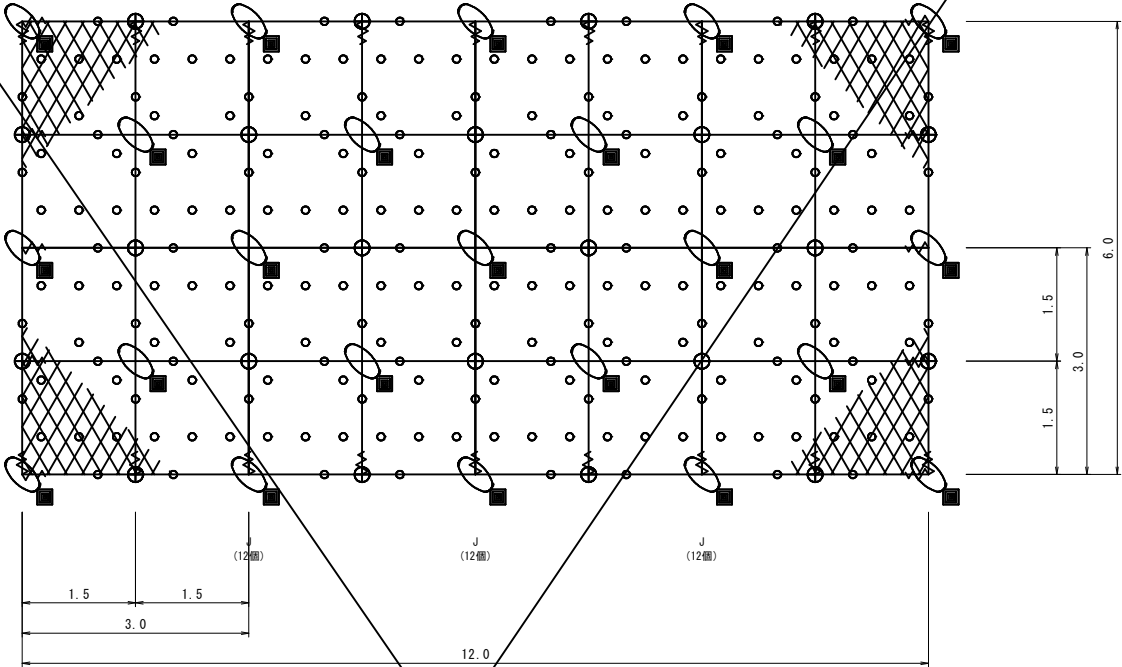
※ 岩部用・土被り部用・土砂部用アンカーは、せん断方向及び引抜方向に抵抗するアンカーとする。

※ アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。

※ 施工範囲は、現場条件により調整を行うこと。

展開図 (NO. 298)

S=1:50



材料明細表

名 称		仕 様・寸 法 (mm)		数 量	単 位	割 増	記号
ハニーネット		3.2φ×64×30	ZA-300	93.6	m ²	72.0×1.3	XXXXXX
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	56.7	m	54.0×1.05	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	63.0	m	60.0×1.05	—
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	28	本		≡
十字形ピンアンカー	13φ×300	Znめっき		286	本		●
	13φ×500	Znめっき		0	本		●
岩部用TSKセメントアンカー		D22 (M20) ×1000	Znめっき	23	本		■
土被り部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1100 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		■
土砂部用TSKブレイクアンカー-25		114.3φ×4.5-1400 D22 (M20) ×750	Znめっき	0	本		●
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	23	個		⊕
Vクリップ		(小) 3.2t×92	Znめっき	22	個		⚡
結合コイル		3.2φ×50×300	ZA-300	221	個	210×1.05	≡

サブアンカー使用数量			
主ロープ	縦	3m 当り2本	36
	横	3m 当り2本	40
ハニーネット		1m ² 当り2本	144
計			220
割 増		×1.3	286

結合コイル使用数量			
主ロープ	縦	1m 当り1個	54
	横	1m 当り2個	120
ハニーネットジョイント(J)		1m 当り2個	36
計			210

※ 下記割合にて数量算出（但し、図中表記はすべて岩部用）

アンカー		サブアンカー	
岩部用 (1000)	-100%	十字形ピン 13φ×300	-100%
土被り部用	- 0%	十字形ピン 13φ×500	- 0%
土砂部用	- 0%		

※ 岩部用・土被り部用・土砂部用アンカーは、せん断方向及び引抜方向に抵抗するアンカーとする。

※ アンカーの型式は設置箇所の土質状況により変更とする。

※ 施工範囲は、現場条件により調整を行うこと。

※本計画地には県の準絶滅危惧種に指定されているアオネカズラ（ウラボシ科）が生息し、水路測点NO.16付近より下流の転石や露岩ではその着生が確認される。アオネカズラの着生が確認される場合は、伐開を最小限に抑え、アンカーが着生位置に干渉する際は、施工前に周辺の岩場等へ移植（くくりつける）する等の配慮を行うこと。

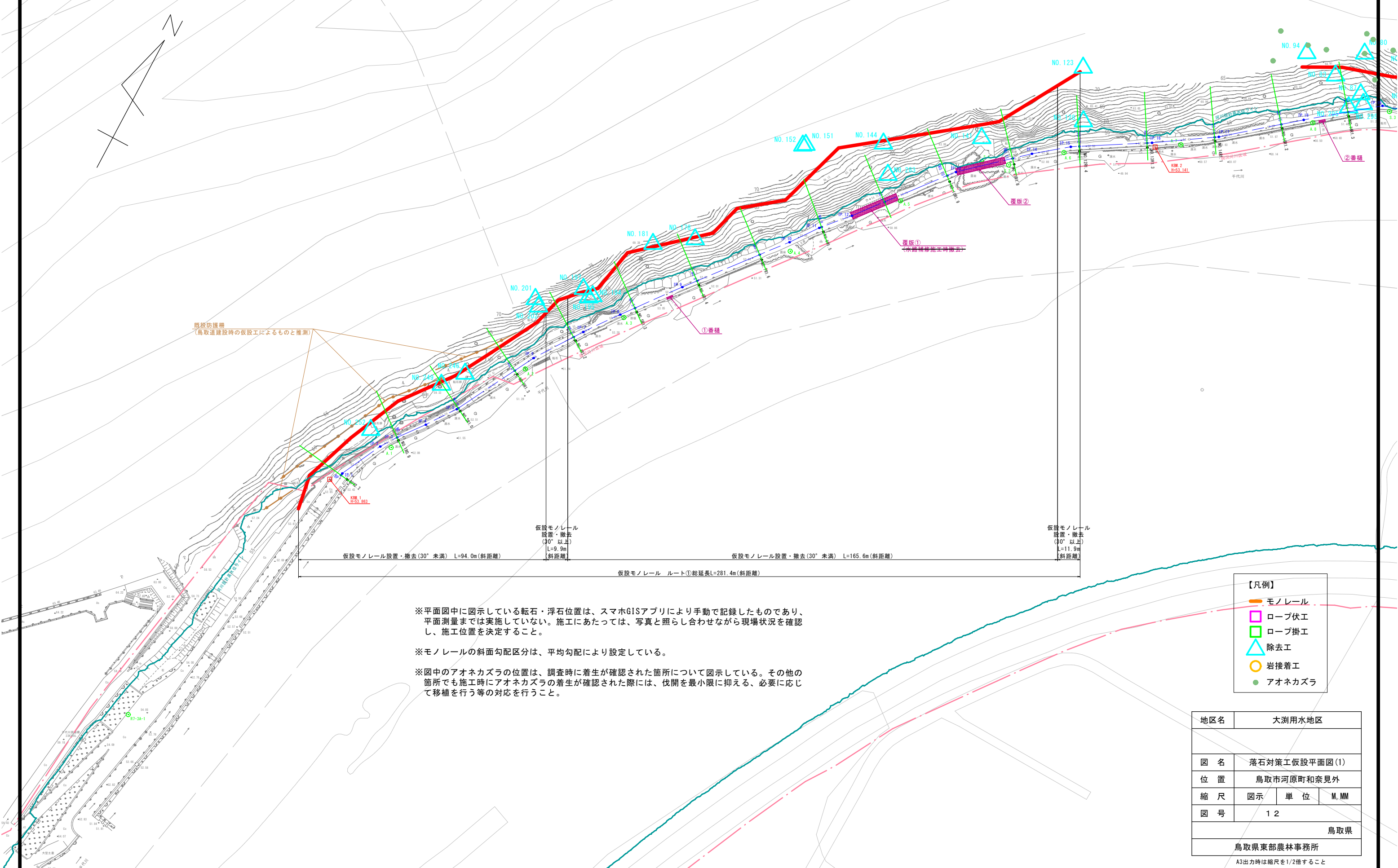
地区名	大湊用水地区		
図 名	ロープ伏工展開図(2)		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	9		
鳥取県			
鳥取県東部農林事務所			

A3出力時は縮尺を1/2倍すること

落石対策工仮設平面図(1)

(参考図)

S=1:500



※平面図中に図示している転石・浮石位置は、スマホGISアプリにより手動で記録したものであり、平面測量までは実施していない。施工にあたっては、写真と照らし合わせながら現場状況を確認し、施工位置を決定すること。

※モノレールの斜面勾配区分は、平均勾配により設定している。

※図中のアオネカズラの位置は、調査時に着生が確認された箇所について図示している。その他の箇所でも施工時にアオネカズラの着生が確認された際には、伐開を最小限に抑える、必要に応じて移植を行う等の対応を行うこと。

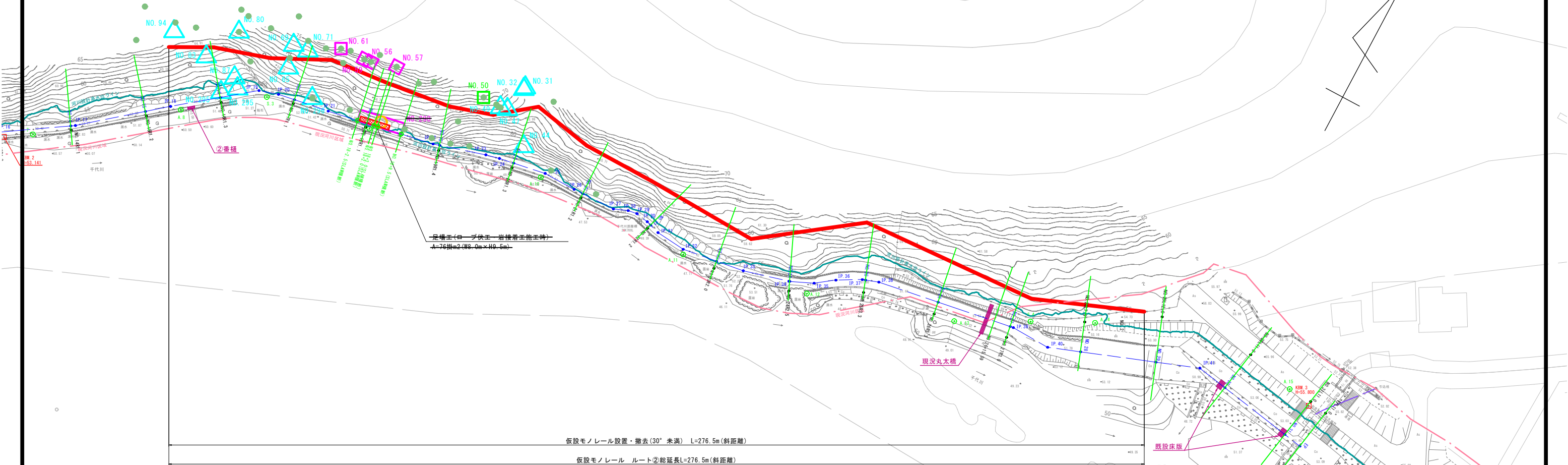
- 【凡例】
- モノレール
 - ロープ伏工
 - ロープ掛工
 - 除去工
 - 岩接着工
 - アオネカズラ

地区名	大淵用水地区		
図 名	落石対策工仮設平面図(1)		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	1 2		
			鳥取県
鳥取県東部農林事務所			

落石対策工仮設平面図(2)

(参考図)

S=1:500



足場工標準図

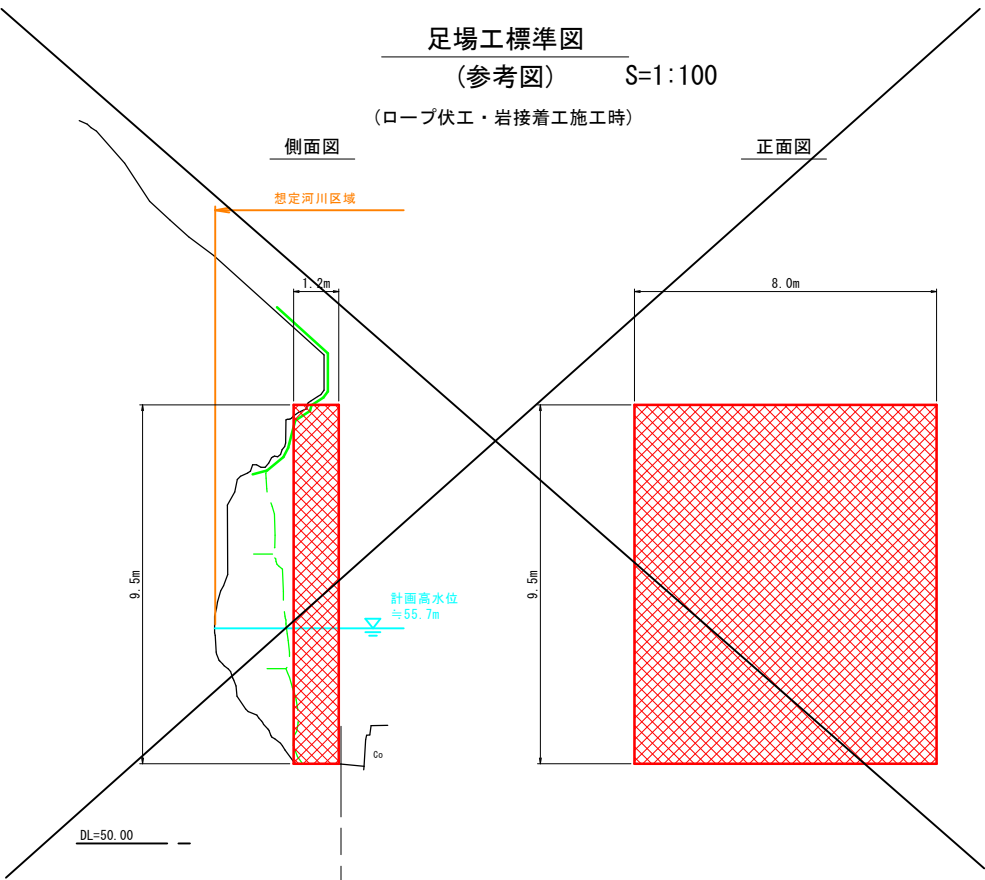
(参考図)

S=1:100

(ロープ伏工・岩接着工施工時)

側面図

正面図



※平面図中に図示している転石・浮石位置は、スマホGISアプリにより手動で記録したものであり、平面測量までは実施していない。施工にあたっては、写真と照らし合わせながら現場状況を確認し、施工位置を決定すること。

※本計画地には県の準絶滅危惧種に指定されているアオネカズラ(ウラボシ科)が生息し、水路測点NO. 16付近より下流の転石や露岩ではその着生が確認される。モノレールルートは、アオネカズラの着生箇所を避ける形で設定しているが、施工時にアオネカズラの着生が確認される場合には、伐開を最小限に抑える等の配慮を行うこと。

※図中のアオネカズラの位置は、調査時に着生が確認された箇所について図示している。その他の箇所でも施工時にアオネカズラの着生が確認された際には、伐開を最小限に抑える、必要に応じて移植を行う等の対応を行うこと。

※モノレールの斜面勾配区分は、平均勾配により設定している。

地区名	大洲用水地区		
図 名	落石対策工仮設平面図(2)		
位 置	鳥取市河原町和奈見外		
縮 尺	図示	単 位	M, MM
図 号	1 3		
			鳥取県
鳥取県東部農林事務所			

